

編集委員会（第一回）

第一回村研編集委員会は、これまでは一〇月の大会終了後、年末近く行われることが多かったが、少しでも早く公募を開始し編集らしい編集を充分に行うことのできるようにという考えから、大会終了直後、大会第二日目、昭和四二年一〇月六日午後八時より、大会開催地「しおさい荘」において行われた。出席委員は、小池基之、福武直、中野卓、島崎稔、蓮見音彦、安原茂、米地実、柿崎京一の七委員、および当日、小池委員と共に共同討議の議長をつとめた余出博通氏にも出席を依頼し、合計八名で次のような議事がおこなわれた。

一、年報第四集の編集方針について

一、原稿公募を次回の「研究通信」に載せて、早い時期に、原稿を集め、年報に掲載すべき原稿を委員会で検討して確定する。そのため、原稿の〆切日を昭和四三年二月末日とする。本年度の大会報告者への原稿依頼についても検討され、これらの原稿についても、その取扱いは前記の方針に従うこととした。

二、年報第四集の「研究動向」の原稿については、「社会学」（甲田実）、「経済学」（井上完二）、「経済史学」（岩本由輝）、「民族学」（村武精）、「法学」（宮崎俊行）の五つの分野について五名に方々に執筆を依頼することにした。尚、原稿は四〇〇字詰一五枚、〆切は、昭和四三年四月末日と決めた。